NO.791

平成 29 年 O_月 15_{日号}

この広報紙は、環境に 配慮したバージンパルプ を使用しています。



カタログポケット

●発行 八街市

編集 総務部秘書広報課 発行日 毎月1日・15日

 $\mp 289 - 1192$

千葉県八街市八街ほ35番地29

☎ (043) 443 − 1111 FAX (043) 444 - 0815 ホームページ

בסדים http://www.city.yachimata.lg.jp/

い名を小投。称、選票

を比挙方

書 例 区 法

表学

は補

い代選

投選は

票挙候

て政者く党の

だ等氏

日も民

査

日

前

不

在

者

○ が 場 ※

かは場

本 理

少で

時な

間い

指指か合入

す期

7

広報やちまたを、カタログポケット(多言語対応電子書籍) で配信しています。

田は衆議院議員 裁判 審査の投票 官國民

北 **ab**

【 找	5 票 所 一 覧	表
投票区	投票所名	地区名
第 1 投票区	市役所第4会議室※	一区
第 2 投票区	二区青年館	二区、七区
第 3 投票区	三区コミュニティセンター	三区
第 4 投票区	八街中央中学校北棟会議室	四区、五区、 ライオンズガーデン
第 5 投票区	六区農村集落センター	六区
第 6 投票区	大東区コミュニティセンター	大東
第 7 投票区	文違コミュニティセンター	文違、喜望の杜
第 8 投票区	八街北中学校体育館※	住野、藤の台、 八街・榎戸学園台
第 9 投票区	泉台区民センター※	榎戸、泉台
第 10 投票区	富山コミュニティセンター	富山、大関
第 11 投票区	みどり台コミュニティセンター	真井原、みどり台
第 12 投票区	西林コミュニティセンター	西林
第 13 投票区	スポーツプラザ体育館	夕日丘、希望ヶ丘
第 14 投票区	四木区コミュニティセンター	四木
第 15 投票区	滝台区コミュニティセンター	滝台
第 16 投票区	山田台コミュニティセンター	山田台
第 17 投票区	南部老人憩いの家	沖
第 18 投票区	大谷流コミュニティセンター	大谷流、小谷流、 勢田
第 19 投票区	用草公民館	根古谷、岡田、 用草
第 20 投票区	東吉田集会所	東吉田
第 21 投票区	川上小学校体育館	吉倉、砂、 ガーデンタウン
第 22 投票区	上砂やすらぎの家	上砂
& 00 TITEL	########	###

第 23 投票区 | 朝日区コミュニティセンター

行 9

大切な一票です。 一次のな一票です。 一次のな一票です。 一次のな一票です。

学日

校当

体日

育の

館午

で後

す。

棄

権

せ

ず、

ず

3

1

1

1

3 務

会事 よう。

局

※第1投票区、第8投票区、第9投票区の投

票所は、上記のとおり変更しましたので、

え

選挙日に投票する際にはご注意ください。

統一標語 「その あなたが動かす日本の未来」

投票時間

午前7時~午後8時

。号判査た、

を官は

い氏や高

て名め裁

投のさ判

だ×思国

上せ所

のた裁

い判

と官

投 ○ き ※ 時 期 場 ② 投 ※

査前月オ

の 10 17 ン

日(火街

前午〉店

投後21

票 7 日

も時(土)

で

市く院投所

ま国間間所期票国

審 午 10 イ 前

期時日八所

書の

て欄

お

も

ま

🔷 第 さのう民

区の

で小

す選

挙

X

は

千

葉

県

お入場い

届場整た

数まはが投票

離載れ世け整理だしがで帯し理券く

含

主ま券

め 1 郵

で、6枚便

すは

切の載に

り記さい

あい

ま を

す

0

7

時期場①が方事レ ではなジ投期9八い記裁審き、どャ票日選街。号判査 ま期で l 日 前 挙 市 投票の前票に対する できなな事を 不在 在な祭事 者い や投 予地旅票

間間所期 前月役 11 所 日 第 (水) 4 〜 会 21 議 日室投出票所 -後8時 (土)

投定域行 票の行 だは複人のは 申のさい でれ場投さ て合票い各人でがき票所**持**す民いで所。自分記きで所入ち。審 投い 票る b さ所方 選場 い受は挙整 付投人理 に票 名券 で 簿が

のきに届 旨ま登か おす 録な

交け郵体便者外 る票度 求方証の すは明障 投書害 と 用のあ が紙交る

お持ちく ○不※西手風白 が定 で病 き院 まや 施

て便に投投の い投重票票指 す。 で Ł

でな付方

○ ま 街 局 局 ラ 人 1 市 聞 駅便・局・・健布月 に局山・ス図福す18 ・田文ポ書祉る日 J台違し館セほ頃 置R郵郵ツ・ンか き八便便プ老タ、新

○出るすと 係票意点 員をし字 に希て投 お望あ票 申さり用しれま紙 手コ、ス コ病病 ス 施とはや流 1 モ・ 院院 設が 施 が確を - ト・エミナース院、南八街病院 及 長で病設 あ認お ヴィ ゆ び にき院に りに持 おまな施院 ま多ち ·在者投 レッジ、 り す しの設(出でで入 八 ス院、 街

○筆※会人2 票代候ガ ○期き点は家っが人代所理補な身代限ま は、10世界 は、10世界 などで、自分で などで、自分で などで、自分で 大が投票ができます。 大が投票は、 大が投票は、 大が投票ができます。 大が投票ができます。 大が投票ができます。 大が投票ができます。 大が投票ができます。 大が投票ができます。 大が投票ができます。 できません。 が投票補助者 できません。 が投票が行わ が行わのの が投票は、投 いわの者投し 人れ1と票出すけ投故

などの請⁴

求

5

の

方 時

H

時

場 会

場

内

内

容

対

対

象

定

定

員

費

参 加

費

申

申

Ļ

込

2

X

締

め

切

り 持

持

5

物

問

問

61

合

わ

せ

運 大 ※ ま ※ 運

1 伴 4

を交生

部規 5

変制日

更の(日)

し、「中に、

街

う日

行祭11せ朝**賃**11**時**

時

日

時

会場

内

容

対

対

象

定

定

員

費

参

加

費

申

申

L

込

2

X

締

め

切

り

持

持

ち

物

問

問

61

合

わ

せ

FAX

4 4

4

08

1

5

葉

評掃

表る

ま

d

(土)

•

5

• • • • •



月発八 4 展街 日し 市 ているに (土) 日八文 (日)街化 に行われてとして年

山る午大四 車ま前東区当する 一, 目 で 9 区 市時の五は 練かの六区 線がいた、 でます。で、屋台が、屋台が、

屋市 台役 や が所お屋 5 日時の (日)競 の **の** ます。 おは 車 演

午 11 1 時 40

> し カ駅 **交** ままを周車八<mark>通</mark> 男田田田東場 一学ので、おやめください。 別ですので、おやめください。 が合わせ先は、六区集落セン か合わせ先は、おやめください。 のお間ので、おやめください。 など)を飛行させる行為はたか。 また、周辺道路は大変通規制のが知らせますので、おやめください。 また、周辺道路は大変通規制のが知らせますので、ご協関ですので、おやめください。 など)を飛行させる行為は危い。 など)を飛行させる行為は危い。 など)を飛行させる行為は危い。 を形します。 をがします。 また、周辺道路は大変混雑 また、おやめください。 は、六区集落セン

協街制 は雑

介

推進

C

市

民

講

座

を

小 長 日

栄木9街

治村月市

議利 25 議

間と夕い※険な※ごし 八な | 合11でど小遠ま 街り _ わ月す) 型慮す ま す。 セおン問 っ危ン

時

福

1

祉 3

セ時

申

4 域薬

4 包剤

セ久薬ン間局

藤

男

22 地

時~3時 の上手な活用 の上手な活用

用

方法

講定対

師 80 市

申

込

順

ょ

人民

飲

み方、

ど調

4 区大4 区祭 長)行 1 5 篠委 8 宮員 4 博文長

3 れ ス を 臨 運

ルに月ん便、 またれ つめあい 運 1 料日す 賃 り 13 無が八バ (日)る 料開街ス 行で臨時運行と 保される日間 はされる日間 はなれる日間 はなれるれる はなれる はなれ 19 便 日 は 運 行 し曜市を ん役森「央。所公中公 れ をま あ詳ごせま 園 央 民 いし利んたバル田の、 バー中館スー学(バい用の

で臨、時

のは

バ設

ス置

停し

ス内く

掲て

まふ

野県振出

の容だ、時 車にさおバ

中つい近ス にい°く停

ま

日産図

るふ

すれ 政 3 策

1

街 dp 議 会議 長 副 議 長 か 改 選 5 れ ま



と 車 5

職員がそれぞれ選出物晴議員、副議長において、議議会9月定例会最終

木村利晴議長

出に議終

域半がいて、価し町

(城後月四街前月千城前

館

ま

L

8

1 4

3

☎議れ 4 4

会事 務た。 局

小山栄治副議長

明づ影

セン

夕

9。説明内容は、開始時間30分ーツプラザ 同じです。

☆環ずに予八午11弥午10 1 千午10 △四午10 △ 4境れ開約街後月富後月 課の場不市62公631千台623街道1122葉台10

で Ł

間い前

0

7 夕

1

−後も閲覧できま−ジでも公表し、

व

3 1

心土さ者 にが地れま私よ 一分な注意を 一分な注意を 一分な注意を 一分な注意を 一分な注意を 一分な注意を 一分な注意を 一分な注意を 一分な注意を 物をれ犯棄処みる罪は 理だがで 法りれす

通れミす準満法

9

7

の家う施使庭必設

用の要

は簡が

ど般行却ら焼

易あ処基合

で

般は、

棄事

物業

產動

業で

廃排

棄出

まれ

す。

ラスチックだなた、梱包用が

1

止なり理準は

さゴま基を

る う

廃

と

7

す。

れ法棄事ル紙のれ

業及らし

廃び出て

発棄物に分類さいましたが、 いましたが、 にいましたが、

興

務

3 所

ま炉

な

禁

カン、可い

、ビン、ペッパ燃ごみと資源

源

物(古

焼ので従しに乗されば、からで従った定を乗れば、

施れ却

で構る

たす

造場

事業活動で

排

るビ

は産業廃棄物

C

た定物れは焼めをて廃

い棄

ま物

処

理

法

ょ

d

停八校西

に街前コ

は駅「一

停入一ス

車口けの

せ市の

トやみっきご

は、 興事務所または産廃・ 人りを見かけたら印旛 また、不審な現場や車がけてください。 地の管理には十分な注 ・ 旛 車 よう。土地域で 印報 4 境 ☎ 24 廃 ☎ 旛 先 い 却 2 時 · 4 地 間残8域 対土 3 振

民

ダ

1

ヤ 8

ル

1 事

1

問

8 0

事平る から ま が 月 の 31別活 出 31 用や (土) で限りがあ を が アラスチック類を可燃ごみに混入して搬入するケースが 多く見受けられます。 産業廃棄物の処理は、法に 産業廃棄物の処理は、法に を業廃棄物のが行うものと されておりますので、適正に されておりますので、適正に されておりますので、適正に されておりますので、適正に 間処さよ IJ

推進課

4 0 6

ネ

5

料

教 1

室

ス 5

7

八午11

街前月

中 10 29

学午

校後

1

時

日

時

会

場

容

対

象

定

定

員

費

参 加

費

申

L

込

み

X

締

8

切

り 持

持

物

問

合

わ

せ

FAX

4 4

4

央時日国

中(水際

7 関 1 中 午 10

5 江円館

0 飲

9 食

0 付

き

と

将

来

を

考

え

3 🏗 軽

谷0央後月

0公129光0民時日

(日)

3

時

30

ス

ダポー

シースツ

ヘパーテブ

1

5

3

2 🏗

3

9

9 0 0

0 0 0

円円

かき 1 か 0 3 5

12 10 開 平

月講成 グ 0 川講間央後バ30折30癒30 「9 バ1 八21 日29 ン 8 1 受公1 ス年 り年 し年素日 ス日街日 時年 ス | 定回講民時研3 紙2 の1 人出研(水の出・度 伍 容街 市 講 民 力 座 板 ツ 申持 メ費定 原工申11730プレ月0人 プロン、 3人(申1 1月00円) 3人(申1 4 。例(及

FAX A

4 市

4 筆

6 用

6 具

記

4

街4小受年中午・成・成・成・月・月 歴 史 昭 和 懐

時 八 会 和 生公92楽 民時回太 鼓 正 日 午 曜 日

費定対場 会人学央前月 館「

子に料館30修月教月音月落

日

(大)

7室10楽13語

日療日

(土) 法(土) を

楽

L

む

ほ分

5

3

時

30

分

分曜 ク 5 分目ラ54 ブ3 時 30 分

問費場 正每台四数月八中午每街四鈴月中午每街四渡月入5小中午每街 4 見 2 街央後月を 4 木 2 央後月ア 4 辺 4 0 の公 1 第 **考** 4 5 公 1 第 **イ** 4 午 2 **廿** 4 義 0 現民時 3 **え** 4 收 0 民時 1 **デ** 3 哲 後 · **|** | 昌円状館 \ 日 **3** | 円館 30 日 **ア** | 男 **o** 1 $\stackrel{\bigstar}{=} 6$

問費内場 時 八 4 曜市 1 時日民9

ガ4 1 4 2 6 時水ル9 5 曜 6 日

> 問費対場 6 山 1 成 泉 4本回人台 1 女区 秀1性民 子りのセ 0 み 夕 1 0

時 をす年ど 館 1 10 ん つ 回 け ¬ た 時日でた大におめ 30 金 みり人行はの せ 世しが、界ま

市 内 在 住 在 勤 0 方

問 すー ま た は 電

時め 閉

☎ 図 申 当 所 1 午 11 み図 受書 付館 カ まゥ す 本時 文学: 夕 1 で を 質び

3 四 円 2

ま材順

で料に費

F

A X

まと向っなお けてしは こんお話開ませる かののはなし の催すは会

分 5 3 時 15 分

申費定 申 込

☎図申当所1午11て新本普架☎図話図無30優一図午11楽 °4 書し日蔵階前月書たを段書4書で書料人先般書後月しゆ 書館カウンター 書館カウンター で受け付けます で選ぶことがで を選ぶことがで を選ぶことがで を選ぶことがで を選ぶことがで を選ぶことがで 本選ぶことがで ももします

4 館 込

ത

時やのく 7 ラ族宅所規後月報と困護 ンな介 模126共話っの テど護ゆ多時日有して悩 いいみ 図スるを りト方誰げ まレがにんい せス同もき んのじ話の か解立せ 消場な

対 場 知 症 0 方 0

申費同※ す イ ア P 介 護 職 員

フ 3 社 オ 会 0 福 ラ 7 祉 `全を8議

時ォななる テに 会 催しマわ交 てにな通 し ま交学い安ム4協 す通識 安経おを開 催

内場 15 ☎ 千 無 1 ん 1 ョ 講 高 船 午 10 1 どい (高 通 ☎ 八 無 席 ボ 家 在 業 小 午 10 情 方 □ 2 葉料 0 にソン話齢橋後月ラを √ 事齢安 4 街料し□ 2 県 0 よン、・者市 1 25 ムおを故社全 4 市 ま 0 るグ県パの民時日を招 人コラ警ネ交文(水開き 」あの ライ音ル通化4 当ボタ 楽デ安ホ時 1隊 イ全 1 30 日 演 先奏奥とスにル分 着な華シカ関 順ど子ンッす さガシる

第 問費定 旛 3 5 2 し 域2安 6 全 3 推 進 課

問な体 ならや ど印パ も旛ネ環沼 学沼ル境流 ぶに展 こ親示体 としな験 がみどフ で、で I き水遊ア

者る機30休を ・る能分 認か型 居 3 宅時 介 護 ₽ 事

間上※時改県さ含へ

千げ従間正最れむパ業10 葉と来額さ低る 一所月

東第 1日から、千葉県内のト、アルバイトなどをいました。 来の846 と、その使用者に適用されました。 をれました。 来の846 のとおりました。 来の846 のとおりました。 をなりました。 をなりました。 をなりました。 をなりました。 をなりました。 をなりました。

5

全験さえ 全教さえ

す

勝談イ 事千0性午11午11をン千務葉5の前月前月実で葉 局県7人1018813施は県 女 | ホ (生) 30 (月) ま 次 性 葉擁0ツ午・分〜すのの と人 お権 りホ 電ッ 話卜

人 0 権 時 日 時 日 し

地護7ト後19~17 方委**0 ラ** 5 日午日 法員 **イ**時(日)後(金) 務連8ン 局合 1

ま す

☎権

2 擁

最低**賃**(護課内)

3 5

ど印工示船(さ荒ヶ田)ヶ田 に旛品・体10と天午 午 催 よ沼販乗験人広中後 後 し る 流 売 車 乗場止2 3 パ域 体農り向 時 ネ市飲験業ゴかル町食、車ムい

での り す。 ま

2 3 2

談性国をつ性ら強権5 にの一ないを暴化 応人斉くてめ力週

不 用品情

りま キャットタワー回転ハンガー(上下棚

7

時

443―1405 収ベット(木製) 上観光課 上観光課 1405 (木製) (高さ1 0 8 cm

間間※・ ☎商で品二 4 工調物段

荒

れ

ひ

ど

< り

な

0

が見

7

2

肌様出使記約

をがしが

7

b

使吹

を出

用

で目続物

子た用

そ 間

いの

込液S相

ォ 見

4ンつ

カかけ

月らた

る間申美

を

で

き

つい広

で

あ

は

あな

組す

金 **へ**ち今 な通**相**らま

ど信談かで

アド

イス〉

選分

言

た。

齢ト

も用

広

す 0) ブ

わる

利マ

はトフ

低レ

年ッ

1

ででは、10 本語では、10 大ででは、10 大ででは、10 本のでででである。 では、10 本のでででである。 に端末を渡していますのででは、10 本のででである。 に端末を渡していますのでである。 に端末を渡していますのでできる。 に端末を渡していますのできる。 に端末を渡していますのできる。 に端末を渡していますのできる。 に端末を渡していますのできる。 に端末を渡していますのできる。 に端末を渡していますのできる。 に端末を渡していますのできる。 には、10 本のできる。 には、10 本ので。

ぶを高

よ精額う算な

ど

す正

の販員

取売の

を広解

告約に・

表返

目て

を動

0

注い請離画

相画た見子層のス相

れ

う求しを

する込

をのかんセ止

額

規

談 個

負

ത

ヤ用

ルめ、

残

2

力

ン を

んだところ、

4 事

れか料カ業月たカた、金月者分の月

金月者にを

た 7

L L

はうと電がなった。

7 1

しル

まを

情っ

لح

わ

せ

FAX

4

4

4

0

8

を

応

援

にク

No. 52

相談を

迷 街安 安 心 な強消 な 逃事調費 市 し項さ者 民生活 たがれの 興 立取味 る場合が場合が場合が お

期約 購: し入れか まも t あ合る事な りや重柄ど、 聞要が

書品金 ス 0 とはを一コネ を い品談 0 コネう 0 ンビ 円む緒 ツ 健 金例 卜 で 3 9 康 で ニーで 送 食 8 見 回 2 5 0 ま回れ の円 け 払 ので購 治注

必る返

ず場品購

合が入

台の条件など契めかできるかどうかんする際には解約

約のか、

内

容

せ手慌サんにてイ

いりてダき用

で条件

ル添トう

おのし

を求し

金請

払面

つが

ま

す き

り目

こ以

合り単は

す操大

ま

て想

るがに

すと

ず子

がが

ょ大ど

う人も。がが

慌てて 大ようには ま合はま に は ま

ま必

はた出ア付利うる

す

動 大人が付き添いま トフ オンで まは

消

√ 末 週 生

4正年月活

を 5

口

だ

け

り

って

っし退にリのさルでこた 会はッ画れト驚 一ク面 てサい を談 しにいイて 娘室 年で でか例 た表 た。 ト行がで 9 0 30 さ ス請 万円」 マ求み 〕画 請広 7 ト面 とあ いいせ 求告 フが 画を ォ表アる 7 り、面ク ン示ダ 0)

0

国社4専後前日 日消団4用19 3 曜費法3電時時年毎費 日生人 5 話 の活 9 2相時午始曜セ 1 相相 9 談 4 談談 9 無 員 協

1 除金 く曜 8 日

全益☎談午午祝設街

5

9月24日(日)、スポーツプラザで第30回八街市消防 操法大会が行われました。ポンプ自動車操法に7 隊、小型ポンプ操法に10隊が出場し、日頃の訓練 の成果を競い合いました。

入賞分団は次のとおりです。また、優勝、準優 勝の分団は印旛支部消防操法大会に出場します。

ポンプ自動車操法

第15分団(夕日丘区) 優勝 準優勝 第2分団(二区) 第3位 第11分団(住野区) 小型ポンプ操法

第16分団 (西林区) 第13分団(四木区) 準優勝 第7分団(滝台区) 第3位 第 4 位 第26分団(上砂区)



防犯ボックス勤務員に 贈呈されました

八街駅南口防犯ボックス勤務 員が事件解決に協力したとし て、8月30日(水)に佐倉警察署か ら感謝状が贈呈されました。





9月24日(日)、 八街駅北口口 ータリー脇で 『やちまた落 花生まつり2 017』が開 催されました。

当日は好天 に恵まれ、茹 で豆用の落花 生として知ら れている「お おまさり」の 試食、生落花 生や新鮮野菜 の販売、八街 生姜ジンジャ ーエールなど の試飲会のほ か、ステージ イベントでは、 ご当地キャラ



クターの登場 や八街中学校吹奏楽部の演奏などが行われました。 市内外から多くの方が訪れ、会場内のテントに はそれぞれ長い行列ができ、大盛況でした。

